

令和6年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：大阪府立女性自立支援センター

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
I 平等利用が確保されるよう適切な管理を行うための方策 (1) 施設の設置目的及び具体的な管理運営方針	○提案のあった基本方針に沿った管理運営	○指定管理者の実施状況欄中、各種研修について、どの範囲の職員がどのような形式で受けているのか、研修を職員間でどのように周知しているのか等、研修の活かされ方の実情を把握されたい。	○各種研修の参加実績に加え、参加した職種や職員間での周知方法を記載した。	○指定管理者の実施状況の記載内容に反映する。
II 施設の効用を最大限発揮するための方策 (1) サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	○提案のあったサービス向上を図るための取組み	○ヒヤリハットで挙げられている項目について、基本的なこと、職員の質に関わってることが挙げられているため、きちんと対応すべき。他事案も、施設の特性上、意識をしないといけないこと。改めて施設運営に関わる職員全員への周知徹底をするべき。入所者には色々なタイプのかたがいるため、入所時に配布してい	○施設に意見を共有した。今後の施設運営にあたり、起こったヒヤリハットの内容を振り返るとともに施設内で改めて周知徹底するように指示した。	○施設内でヒヤリハットの内容を共有した上で、再発防止に向けて周知徹底を行う。「生活のしおり」についても内容を確認し、見直す必要について検討する。

(2) 利用者の自立支援を図るための具体的手法及び期待される効果 IV 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力等	る「生活のしおり」について現在の記載で本当に伝わるのか、適宜見直すべき。 ○「利用者の自立支援を図るための具体的手法」について、前から依頼していた「情報リテラシー講座」を実践されているのは評価できる。金融リテラシーについても、情報リテラシーが弱い方が詐欺に合いやすいため、警察の生活安全課と積極的に関わっていくことも一つの方法ではないか。 ○市バスや道中で、詐欺のアナウンス等の啓発がされているが、施設にいる方は情報に触れる機会が少ない。ロマンス詐欺、不倫相手から金銭をだまし取られるなどの性依存に関係する詐欺に関する研修を実施すると良いのではないか。	○施設に意見を共有し、今後予定している民間企業での金融リテラシー講座を実施することに加え、警察の生活安全課とも関わっていくことを検討するように指示した。 ○施設に意見を共有した。詐欺に関する研修は、人との境界線にも関わってくるものなので、内容を整理して実施する方向で検討するように指示を行った。	○詐欺などの被害から身を守ることができるよう、警察の生活安全課と連携し、金融リテラシーについて学べる機会を設ける方法や手段を検討する。 ○カフェ形式で開催されている研修会において、詐欺や人との境界線にかかわるテーマを取り上げることが検討される。
---	------------------------------	---	---	--